

但馬管内の景気動向調査

2017年7～9月期実績・2017年10～12月期見通し

【特別調査 中小企業経営と地域との関わりについて】

調査の概要

1. 回答数：452（前回：573）
2. 分析方法：ディフュージョン・インデックス（D.I.）
景気の各項目事項について、良いと感じている企業の割合から悪いと感じている企業の割合を引いたもの。



但馬信用金庫

1. 概況（回答数452 前回573）

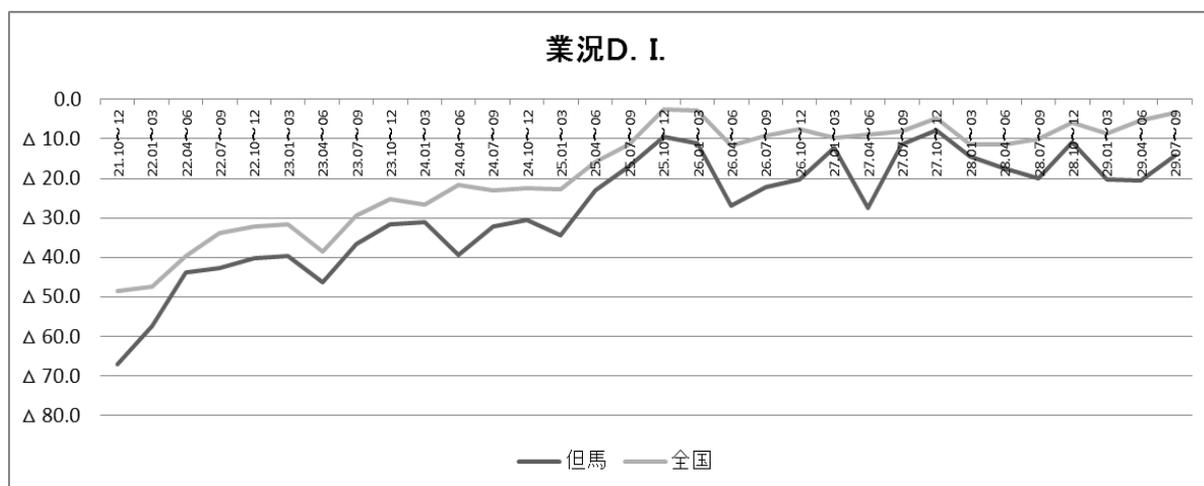
今回(7月～9月期)のD.I.は、全項目マイナスではあるが、前年同期比収益D.I.、借入金の難易度D.I.、人手過不足D.I.を除き、前四半期比改善した。10月～12月期の景況予想については、売上額D.I.、収益D.I.の改善見通しにより、業況D.I.は今回より6ポイント改善予想ではあるが、下記の天気図から見てわかるように、依然として低調な状況が今後も続くと思われる。

全体	2017年7～9月期実績	前四半期比	2017年10～12月期予想
業況D.I.	△ 14.2	6.3	△ 8.2
前年同期比売上額D.I.	△ 10.9	0.8	-
前年同期比収益D.I.	△ 15.0	△ 1.3	-
売上額D.I.	△ 1.6	22.0	5.1
収益D.I.	△ 4.6	19.0	△ 1.1
資金繰りD.I.	△ 14.4	3.1	△ 14.0
借入金の難易度D.I.	△ 8.4	△ 3.9	-
前期比残業時間D.I.	△ 1.3	5.1	4.3
人手過不足D.I.	△ 22.1	△ 5.8	△ 28.6

業種名 \ 時期	2017年 4～6月	2017年 7～9月	2017年 10～12月(見通し)
総合			
製造業			
建設業			
卸売業			
小売業			
不動産業			
サービス業			

(この天気図は、過去1年の景気指標を総合的に判断して作成したものです。)

好調 ← → 低調



2. 製造業（回答数 82 前回 104）

今回の調査で業況 D.I は△3.7 ポイントとなり、前四半期比 7.9 ポイント改善した。

前四半期比で売上額 D.I. が 14.4 ポイント、受注残 D.I. △12.5、収益 D.I. が 5.1 ポイント、収益 D.I. が 7.9 ポイント改善した事が業況 D.I. 改善の要因。また、売上額 D.I.、収益 D.I. 共に、前年同期比でも改善が見られる。

10月～12月期予想は、人手過不足感の悪化懸念が見られるものの、売上額 D.I.、収益 D.I. に明るい兆しが見られ、業況 D.I. は改善予想が見込まれる。

製造業	2017年7～9月期実績	前四半期比	2017年10～12月期予想
業況D.I.	△ 3.7	7.9	7.4
前年同期比売上額D.I.	15.0	12.1	-
前年同期比収益D.I.	7.5	6.5	-
売上額D.I.	0.0	14.4	30.9
受注残D.I.	△ 7.4	5.1	14.8
収益D.I.	△ 3.7	7.9	17.5
販売価格D.I.	3.7	9.5	19.8
原材料価格D.I.	22.2	2.8	28.4
原材料在庫D.I.	△ 3.7	△ 13.4	△ 3.7
資金繰りD.I.	△ 2.4	2.4	1.2
借入金の難易度D.I.	0.0	△ 9.8	-
前期比残業時間D.I.	13.4	22.1	20.7
人手過不足D.I.	△ 32.1	△ 13.7	△ 48.1
現在の設備D.I.	△ 11.4	6.1	-
設備投資D.I.	53.3	13.9	-
来期設備投資D.I.	52.4	6.2	-

3. 建設業（回答数 102 前回 110）

今回の調査で業況 D.I は△6.9 ポイントとなり、前四半期比 9.6 ポイント改善した。

前四半期比で受注残 D.I. が 8.8 ポイント、施工高 D.I. が 4.6 ポイント、収益 D.I. が 6.1 ポイント改善した事が業況 D.I. 改善の要因。しかしながら、収益面では、前年同期比では、まだ下回った状況である。

10月～12月期予想は、人手過不足感の悪化懸念が見られるものの、受注残 D.I. に明るい兆しが見られ、僅少なながら業況 D.I. の改善が見込まれる。

建設業	2017年7～9月期実績	前四半期比	2017年10～12月期予想
業況D.I.	△ 6.9	9.6	△ 2.9
前年同期比売上額D.I.	△ 13.9	△ 3.0	-
前年同期比収益D.I.	△ 12.9	△ 2.0	-
売上額D.I.	△ 7.0	2.1	△ 6.9
受注残D.I.	△ 4.0	8.8	△ 2.9
施工高D.I.	0.0	4.6	0.0
収益D.I.	△ 3.9	6.1	△ 9.8
請負価格D.I.	△ 4.9	△ 2.2	△ 4.9
材料価格D.I.	10.8	△ 6.5	8.8
在庫D.I.	1.0	2.8	2.9
資金繰りD.I.	△ 9.8	1.1	△ 15.7
借入金の難易度D.I.	△ 7.0	△ 1.5	-
前期比残業時間D.I.	△ 2.9	1.6	△ 3.0
人手過不足D.I.	△ 21.6	△ 1.6	△ 29.0
現在の設備D.I.	△ 8.9	7.5	-
設備投資D.I.	28.4	△ 4.3	-
来期設備投資D.I.	32.4	2.4	-

4. 卸売業（回答数 53 前回 68）

今回の調査で業況 D.I が△32.1 ポイントとなり、前四半期比△1.2 ポイント悪化した。

前四半期比で販売価格 D.I. が△9.0 ポイント、在庫 D.I. が△9.5 ポイント、収益 D.I. が△8.1 ポイント悪化した事が業況 D.I. 悪化の要因。また、前年同期比でも、売上額 D.I.、収益 D.I. は、共に大きく下回った状況である。

10月～12月期予想は、人手過不足 D.I. と在庫 D.I. が多少の悪化見通しとなっているが、売上額 D.I.、収益 D.I. の改善見通しにより、業況 D.I. は、マイナスながら改善が見込まれる。

卸売業	2017年7～9月期実績	前四半期比	2017年10～12月期予想
業況D.I.	△ 32.1	△ 1.2	△ 11.3
前年同期比売上額D.I.	△ 24.5	△ 5.4	-
前年同期比収益D.I.	△ 26.4	0.1	-
前年同期比販売価格D.I.	5.7	△ 10.5	-
売上額D.I.	△ 18.9	7.6	17.0
収益D.I.	△ 30.2	△ 8.1	17.0
販売価格D.I.	5.7	△ 9.0	20.8
仕入価格D.I.	17.0	0.8	24.5
在庫D.I.	3.8	△ 9.5	1.9
資金繰りD.I.	△ 18.9	△ 5.6	△ 17.0
借入金の難易度D.I.	△ 11.3	△ 8.4	-
前期比残業時間D.I.	0.0	3.0	3.8
人手過不足D.I.	△ 5.7	△ 1.2	△ 7.7
現在の設備D.I.	1.9	3.4	-
設備投資D.I.	32.1	2.7	-
来期設備投資D.I.	37.7	2.4	-

5. 小売業（回答数 62 前回 83）

今回の調査で業況 D.I が△39.3 ポイントとなり、前四半期比△0.8 ポイントと更に悪化した。

前四半期比で売上額 D.I.、収益 D.I. は改善したが、在庫 D.I. △10.1 ポイントと大幅に悪化した事が、業況 D.I. 悪化の要因。また、前年同期比では、売上額 D.I.、収益 D.I. は、共に大きく下回った状況である。

10月～12月期予想は、人手過不足 D.I.、資金繰り D.I.、販売価格 D.I. の悪化予想から業況 D.I. は、更に悪化の見通しとなっている。

小売業	2017年7～9月期実績	前四半期比	2017年10～12月期予想
業況D. I.	△ 39.3	△ 0.8	△ 41.7
前年同期比売上額D. I.	△ 36.1	△ 7.1	-
前年同期比収益D. I.	△ 29.5	△ 4.2	-
前年同期比販売価格D. I.	6.6	2.9	-
売上額D. I.	△ 16.1	26.0	△ 14.8
収益D. I.	△ 16.1	21.2	△ 18.0
販売価格D. I.	4.8	3.6	1.6
仕入価格D. I.	8.1	△ 0.4	9.8
在庫D. I.	△ 1.6	△ 10.1	0.0
資金繰りD. I.	△ 29.5	8.3	△ 31.1
借入金の難易度D. I.	△ 16.4	△ 3.7	-
前期比残業時間D. I.	△ 9.8	△ 5.0	△ 1.6
人手過不足D. I.	△ 16.7	5.3	△ 20.3
現在の設備D. I.	△ 6.6	△ 1.7	-
設備投資D. I.	29.0	7.3	-
来期設備投資D. I.	25.8	6.5	-

6. 不動産業（回答数 16 前回 17）

今回の調査で業況 D.I. は 6.3 ポイントとなり、前四半期比△5.5 ポイントと悪化した。

前四半期比で販売価格 D.I.、在庫 D.I.、資金繰り D.I.、人手過不足 D.I. の悪化が、業況 D.I. の悪化要因である。また、収益 D.I. は、前年同期比でも悪化している。

10月～12月期予想は、業況 D.I. は 6.3 ポイントと横這いの見通しであるが、資金繰り D.I.、人手過不足 D.I. に改善傾向が見られる。

不動産業	2017年7～9月期実績	前四半期比	2017年10～12月期予想
業況D. I.	6.3	△ 5.5	6.3
前年同期比売上額D. I.	0.0	0.0	-
前年同期比収益D. I.	△ 12.5	△ 12.5	-
売上額D. I.	12.5	18.8	12.5
収益D. I.	6.3	12.5	0.0
販売価格D. I.	△ 13.3	△ 7.1	△ 13.3
仕入価格D. I.	△ 6.7	0.0	△ 6.7
在庫D. I.	△ 6.7	△ 6.7	△ 6.7
資金繰りD. I.	△ 12.5	△ 18.4	△ 6.3
借入金の難易度D. I.	△ 6.7	0.0	-
前期比残業時間D. I.	0.0	△ 5.9	0.0
人手過不足D. I.	△ 25.0	△ 13.2	△ 18.8

7. サービス業（回答数 137 前回 191）

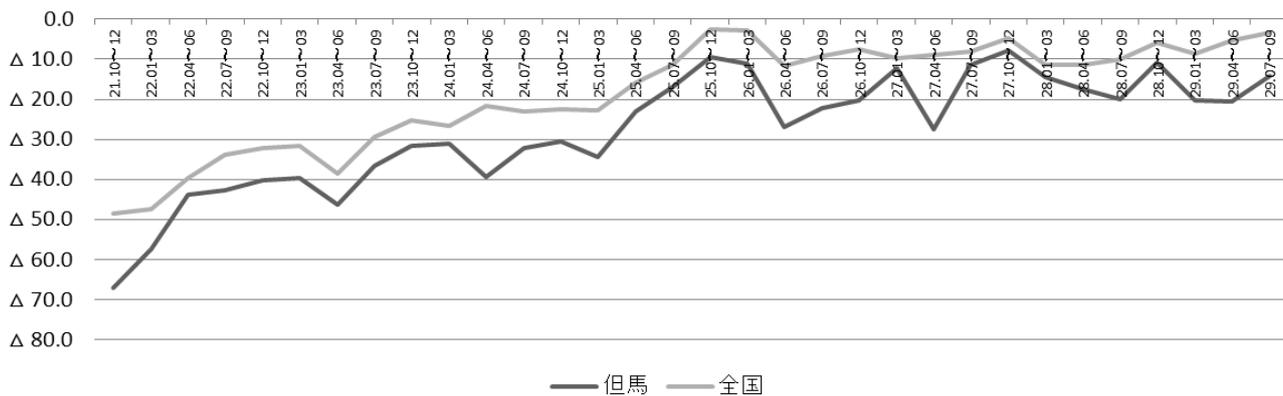
今回の調査で業況 D.I が△10.2 ポイントとなり、前四半期比 8.7 ポイントと改善した。

前四半期比で人手過不足 D.I が悪化したのが、売上額 D.I.、収益 D.I. が改善した事が業況 D.I. の改善要因。しかしながら、前年同期比では、売上額 D.I.、収益 D.I. は、共に下回った状況である。

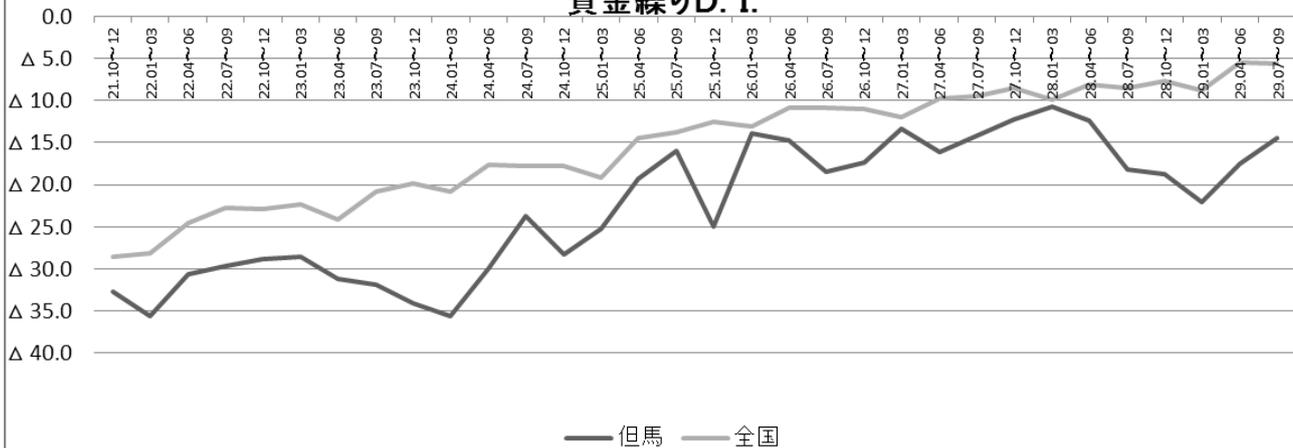
10月～12月期予想は、料金価格 D.I. と材料価格 D.I. の改善が見られ、業況 D.I. は若干の改善を見通している。

サービス業	2017年7～9月期実績	前四半期比	2017年10～12月期予想
業況D. I.	△ 10.2	8.7	△ 7.3
前年同期比売上額D. I.	△ 8.8	2.2	-
前年同期比収益D. I.	△ 19.0	△ 4.3	-
売上額D. I.	13.1	42.5	2.2
収益D. I.	8.0	42.1	△ 5.1
料金価格D. I.	0.7	7.7	10.9
材料価格D. I.	12.4	1.4	16.1
資金繰りD. I.	△ 16.9	6.2	△ 14.0
借入金の難易度D. I.	△ 9.6	△ 1.0	-
前期比残業時間D. I.	△ 5.9	3.5	2.9
人手過不足D. I.	△ 25.0	△ 9.8	△ 29.4
現在の設備D. I.	△ 20.4	△ 0.3	-
設備投資D. I.	21.9	△ 3.8	-
来期設備投資D. I.	21.2	△ 3.4	-

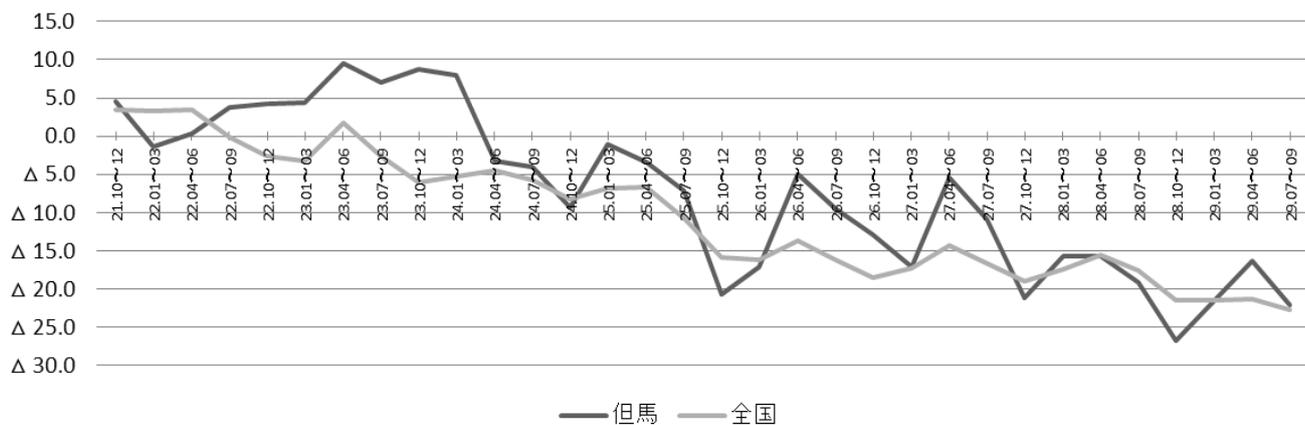
業況D. I.



資金繰りD. I.



人手過不足D. I.



業種別DI等の推移表

製造業	前年同期に比べて											前期比 残業時間	人手	借入金の 難易度	現在の 設備	設備投資 実施割合
	業況	売上額	収益	売上額	受注残	収益	販売価格	原材料価格	原材料在庫	資金繰り	資金繰り					
28.04~06	△ 1.7	△ 19.0	△ 15.5	△ 13.8	△ 10.3	△ 3.4	6.9	10.3	△ 1.7	5.2	8.6	△ 24.1	7.0	△ 20.7	64.4	
28.07~09	△ 9.8	0.0	2.4	9.8	0.0	2.4	12.2	12.2	9.8	0.0	2.4	△ 17.1	14.6	△ 12.2	29.3	
28.10~12	5.5	△ 5.5	△ 2.7	26.0	15.1	24.7	11.0	31.5	1.4	2.7	12.5	△ 34.7	11.0	△ 24.7	30.1	
29.01~03	7.8	6.3	△ 5.1	1.3	△ 1.3	3.8	2.6	27.8	11.4	△ 2.5	10.1	△ 33.3	5.1	△ 24.1	40.5	
29.04~06	△ 11.5	2.9	1.0	△ 14.4	△ 12.5	△ 11.5	△ 5.8	19.4	9.7	△ 4.8	△ 8.7	△ 18.4	9.8	△ 17.5	39.4	
29.07~09	△ 3.7	15.0	7.5	0.0	△ 7.4	△ 3.7	3.7	22.2	△ 3.7	△ 2.4	13.4	△ 32.1	0.0	△ 11.4	53.3	
29.10~12	7.4															

建設業	前年同期に比べて											前期比 残業時間	人手	借入金の 難易度	現在の 設備	設備投資 実施割合
	業況	売上額	収益	売上額	受注残	施行高	収益	請負価格	材料価格	在庫	資金繰り					
28.04~06	△ 25.5	△ 33.3	△ 35.3	△ 15.7	△ 13.7	△ 13.7	△ 25.5	△ 13.7	21.6	△ 2.0	△ 17.6	△ 5.9	△ 17.6	△ 2.0	△ 5.9	57.3
28.07~09	△ 2.6	△ 25.6	△ 23.7	△ 25.0	△ 15.0	△ 22.5	△ 30.0	△ 10.0	22.5	△ 5.0	△ 12.5	△ 15.0	△ 17.5	△ 5.0	△ 12.5	30.0
28.10~12	△ 5.5	△ 6.6	△ 9.9	3.3	△ 6.7	4.4	△ 2.2	△ 13.5	15.7	1.1	△ 29.7	△ 1.1	△ 30.8	△ 14.9	△ 11.2	34.1
29.01~03	△ 31.2	△ 15.8	△ 20.8	△ 31.2	△ 26.7	△ 23.4	△ 28.6	△ 14.3	13.2	△ 2.6	△ 31.2	3.9	△ 14.5	△ 11.0	△ 17.1	28.6
29.04~06	△ 16.5	△ 10.9	△ 10.9	△ 9.1	△ 12.7	△ 4.6	△ 10.0	△ 2.7	17.3	△ 1.8	△ 10.9	△ 4.5	△ 20.0	△ 5.5	△ 16.4	32.7
29.07~09	△ 6.9	△ 13.9	△ 12.9	△ 7.0	△ 4.0	0.0	△ 3.9	△ 4.9	10.8	1.0	△ 9.8	△ 2.9	△ 21.6	△ 7.0	△ 8.9	28.4
29.10~12	△ 2.9															

卸売業	前年同期に比べて											前期比 残業時間	人手	借入金の 難易度	現在の 設備	設備投資 実施割合
	業況	売上額	収益	販売価格	売上額	収益	販売価格	仕入価格	在庫	資金繰り	資金繰り					
28.04~06	△ 24.4	△ 15.6	△ 2.2	13.3	△ 20.0	△ 26.7	13.3	15.9	6.7	△ 4.4	0.0	△ 11.4	△ 7.0	△ 9.8	40.0	
28.07~09	△ 31.4	△ 11.4	△ 8.6	△ 5.7	△ 20.0	△ 25.7	0.0	20.0	17.6	△ 14.3	△ 2.9	△ 5.7	△ 5.7	△ 14.3	31.4	
28.10~12	△ 14.0	△ 15.9	△ 9.1	△ 6.8	4.5	4.5	2.3	18.2	13.6	△ 15.9	△ 7.0	△ 14.0	△ 4.5	△ 6.8	31.8	
29.01~03	△ 41.7	△ 43.2	△ 29.7	0.0	△ 37.8	△ 37.8	2.7	10.8	10.8	△ 35.1	△ 10.8	△ 22.2	△ 10.8	5.4	29.7	
29.04~06	△ 30.9	△ 19.1	△ 26.5	16.2	△ 26.5	△ 22.1	14.7	16.2	13.2	△ 13.2	△ 3.0	△ 4.4	△ 2.9	△ 1.5	29.4	
29.07~09	△ 32.1	△ 24.5	△ 26.4	5.7	△ 18.9	△ 30.2	5.7	17.0	3.8	△ 18.9	0.0	△ 5.7	△ 11.3	1.9	32.1	
29.10~12	△ 11.3															

小売業	前年同期に比べて											前期比 残業時間	人手	借入金の 難易度	現在の 設備	設備投資 実施割合
	業況	売上額	収益	販売価格	売上額	収益	販売価格	仕入価格	在庫	資金繰り	資金繰り					
28.04~06	△ 41.9	△ 30.2	△ 27.9	9.3	△ 42.9	△ 35.7	△ 7.1	14.3	7.1	△ 33.3	△ 2.3	△ 7.1	△ 23.8	△ 11.9	30.2	
28.07~09	△ 42.1	△ 23.7	△ 34.2	2.6	2.6	△ 5.3	0.0	15.8	18.4	△ 47.4	△ 13.2	△ 7.9	△ 10.8	△ 21.1	42.1	
28.10~12	△ 34.3	△ 33.3	△ 34.8	△ 6.1	△ 4.5	△ 6.0	△ 1.5	13.4	△ 3.0	△ 39.4	1.5	△ 16.4	△ 13.4	△ 14.9	23.9	
29.01~03	△ 42.6	△ 25.9	△ 29.6	3.7	△ 22.2	△ 29.6	3.7	14.8	3.7	△ 42.6	△ 13.0	△ 14.8	△ 14.8	△ 9.4	18.5	
29.04~06	△ 38.6	△ 28.9	△ 25.3	3.6	△ 42.2	△ 37.3	1.2	8.4	8.5	△ 37.8	△ 4.8	△ 22.0	△ 12.7	△ 4.8	21.7	
29.07~09	△ 39.3	△ 36.1	△ 29.5	6.6	△ 16.1	△ 16.1	4.8	8.1	△ 1.6	△ 29.5	△ 9.8	△ 16.7	△ 16.4	△ 6.6	29.0	
29.10~12	△ 41.7															

不動産業	前年同期に比べて											前期比 残業時間	人手	借入金の 難易度
	業況	売上額	収益	売上額	収益	販売価格	仕入価格	在庫	資金繰り	資金繰り				
28.04~06	15.4	0.0	15.4	0.0	△ 15.4	△ 15.4	△ 8.3	△ 8.3	△ 8.3	0.0	7.7	△ 7.7	0.0	
28.07~09	△ 18.2	△ 9.1	△ 18.2	△ 9.1	△ 9.1	△ 10.0	△ 12.5	12.5	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	
28.10~12	△ 20.0	0.0	△ 6.7	0.0	0.0	△ 21.4	△ 14.3	△ 7.7	△ 6.7	14.3	△ 21.4	△ 20.0		
29.01~03	14.3	0.0	16.7	0.0	14.3	△ 14.3	0.0	16.7	42.9	14.3	△ 14.3	0.0		
29.04~06	11.8	0.0	0.0	△ 6.3	△ 6.3	△ 6.3	△ 6.7	0.0	5.9	5.9	△ 11.8	△ 6.7		
29.07~09	6.3	0.0	△ 12.5	12.5	6.3	△ 13.3	△ 6.7	△ 6.7	△ 12.5	0.0	△ 25.0	△ 6.7		
29.10~12	6.3													

サービス業	前年同期に比べて											前期比 残業時間	人手	借入金の 難易度	現在の 設備	設備投資 実施割合
	業況	売上額	収益	売上額	収益	料金価格	材料価格	資金繰り	資金繰り							
28.04~06	△ 10.6	△ 1.5	△ 6.0	△ 28.4	△ 35.8	△ 7.5	11.9	△ 17.9	11.9	△ 16.7	△ 4.5	△ 25.8	43.3			
28.07~09	△ 17.6	△ 2.0	3.9	7.8	9.8	2.0	11.8	△ 24.0	0.0	△ 44.0	4.2	△ 28.0	35.3			
28.10~12	△ 9.7	△ 3.4	△ 6.2	6.2	2.1	10.4	25.9	△ 15.3	6.9	△ 29.2	△ 11.3	△ 19.3	33.6			
29.01~03	△ 15.8	0.0	1.1	△ 12.8	△ 13.7	3.2	20.2	△ 19.1	1.1	△ 21.1	△ 16.3	△ 14.9	28.4			
29.04~06	△ 18.9	△ 11.0	△ 14.7	△ 29.3	△ 34.0	△ 7.0	11.0	△ 23.2	△ 9.4	△ 15.2	△ 8.6	△ 20.1	25.7			
29.07~09	△ 10.2	△ 8.8	△ 19.0	13.1	8.0	0.7	12.4	△ 16.9	△ 5.9	△ 25.0	△ 9.6	△ 20.4	21.9			
29.10~12	△ 7.3															

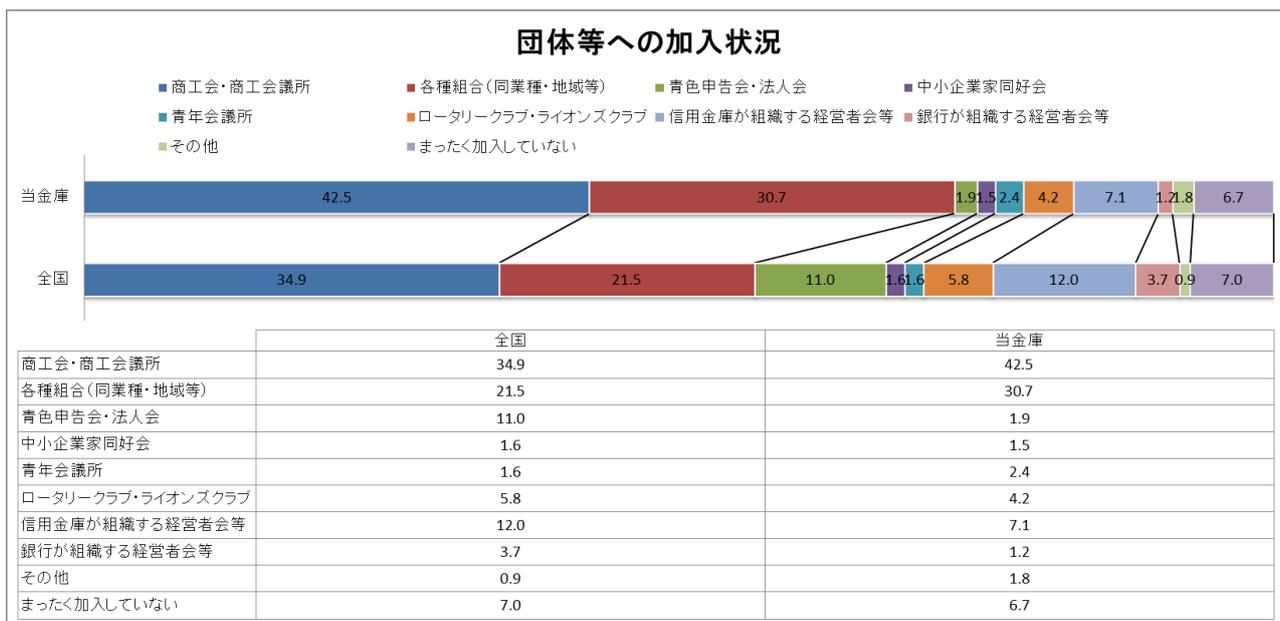
全業種	前年同期に比べて											前期比 残業時間	人手	借入金の 難易度
	業況	売上額	収益	売上額	収益	資金繰り	資金繰り							
28.04~06	△ 17.4	△ 17.7	△ 15.2	△ 22.5	△ 24.6	△ 12.3	3.6	△ 15.7	△ 4.8					
28.07~09	△ 20.1	△ 11.6	△ 11.2	△ 4.2	△ 8.3	△ 18.2	△ 5.1	△ 19.1	0.0					
28.10~12	△ 10.8	△ 10.1	△ 11.0	7.1	3.9	△ 18.7	4.2	△ 26.7	△ 8.2					
29.01~03	△ 20.2	△ 10.7	△ 13.0	△ 17.2	△ 17.5	△ 22.1	0.6	△ 21.4	△ 9.1					
29.04~06	△ 20.5	△ 11.7	△ 13.6	△ 23.6	△ 23.6	△ 17.5	△ 6.5	△ 16.3	△ 4.5					
29.07~09	△ 14.2	△ 10.9	△ 15.0	△ 1.6	△ 4.6	△ 14.4	△ 1.3	△ 22.1	△ 8.4					
29.10~12	△ 8.2													

全国	前年同期に比べて											前期比 残業時間	人手
	業況	売上額	収益	資金繰り	資金繰り								
28.04~06	△ 11.4	△ 8.3	△ 9.6	△ 8.1	△ 15.6								
28.07~09	△ 10.1	△ 8.2	△ 9.2	△ 8.5	△ 17.6								
28.10~12	△ 6.0	△ 6.7	△ 8.2	△ 7.7	△ 21.4								
29.01~03	△ 8.5	△ 6.1	△ 8.3	△ 8.8	△ 21.5								
29.04~06	△ 5.3	△ 2.2	△ 3.8	△ 5.5	△ 21.3								
29.07~09	△ 3.3	△ 0.9	△ 3.3	△ 5.6	△ 22.7								
29.10~12	0.1												

《特別調査》 中小企業経営と地域との関わりについて

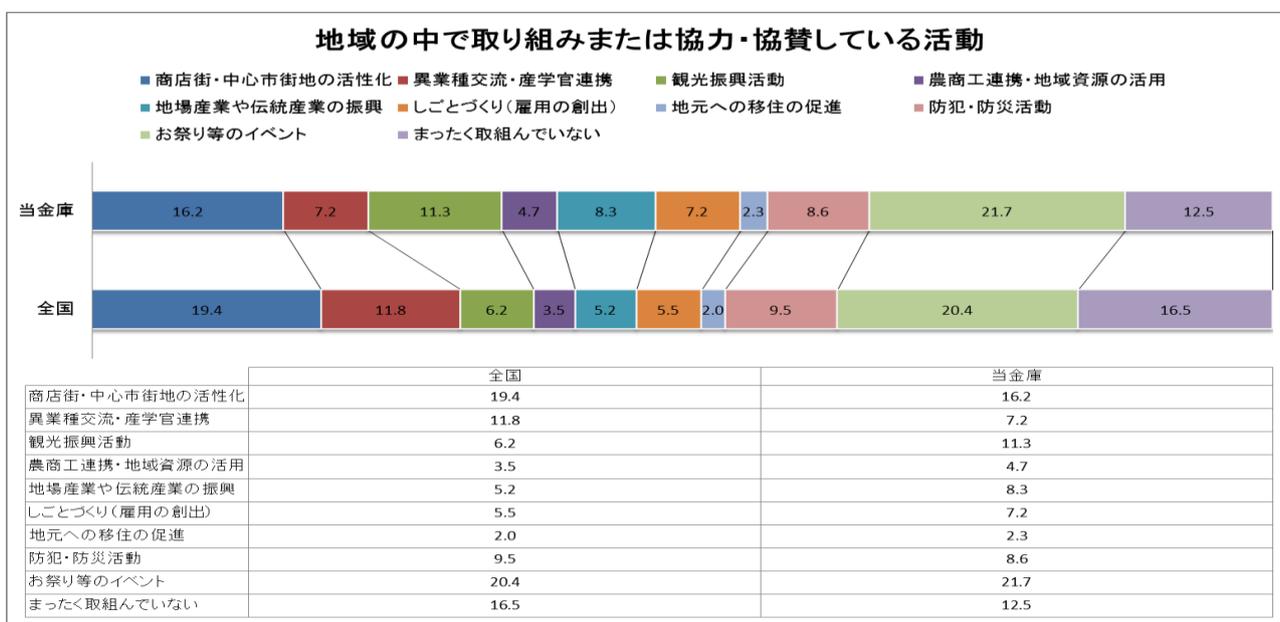
【問1】 団体等への加入状況

団体等への加入状況については、「商工会・商工会議所」への加入が42.5%と最も多く、次いで、「各種組合（同業種・地域等）」が30.7%となっている。これは全国に比べ、大きく上回った割合となっている。



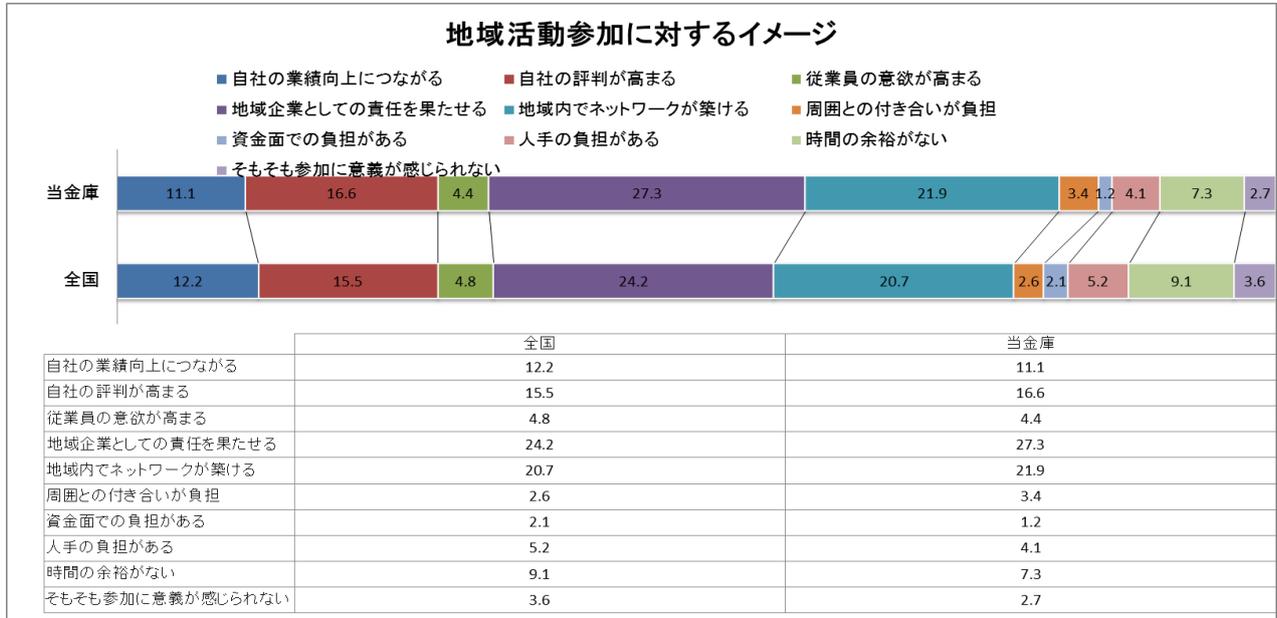
【問2】 地域の中で取り組みまたは協力・協賛している活動

地域の中で取組または協力・協賛している活動については、「お祭り等へのイベント」が21.7%が最も多く、全国とほぼ同じ割合である。次いで「商店街・中心市街地の活性化」が16.2%、「観光振興活動」が11.3%と続く。また、「まったく取組んでいない」は、全国より低い割合となっている。



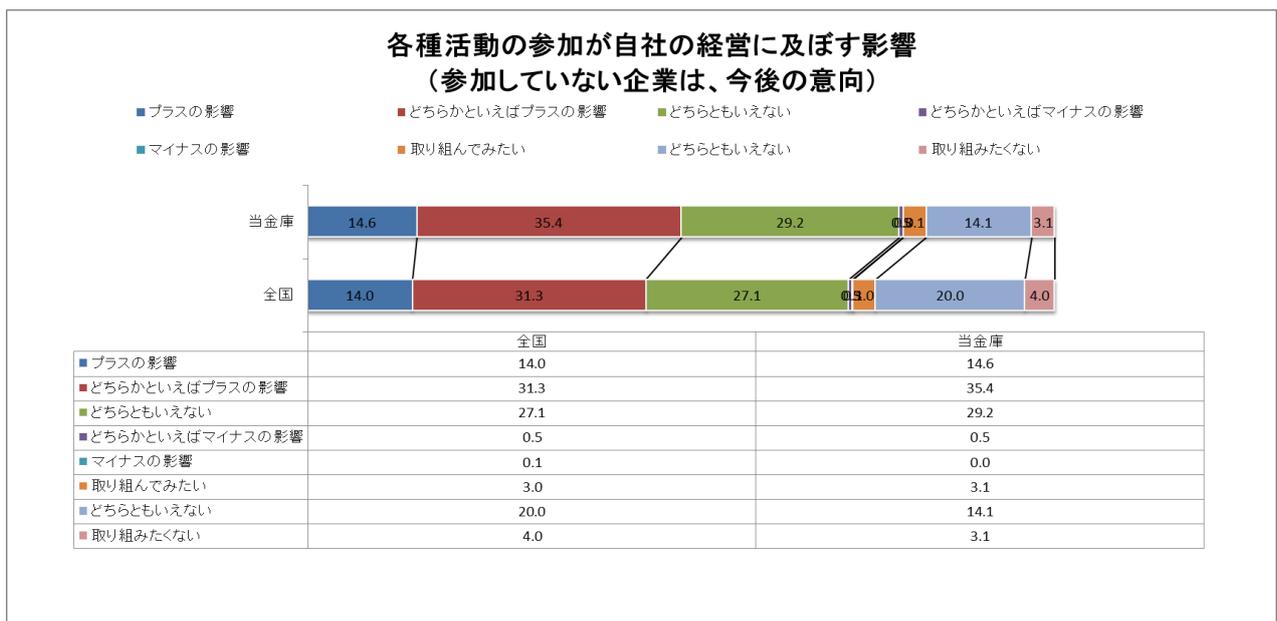
【問3】 地域活動参加に対するイメージ

地域活動参加に対するイメージについては、「地域企業としての責任を果たせる」が27.3%と最も多く、次いで「地域内でネットワークが築ける」が21.9%、「自社の評判が高まる」16.6%であった。前記割合は、全国に比べ、高い割合であった。



【問4】 各種活動の参加が自社の経営に及ぼす影響

各種活動の参加が自社の経営に及ぼす影響については、「どちらかといえばプラスの影響」が35.4%と最も多く、次いで「どちらともいえない」が29.2%、「プラスの影響」が14.6%と続く。「取り組んでみたい」3.1%を含めると、8割超の割合で肯定的に捉えている。



【問5】地域活動が活発化するための、地元自治体や地域金融機関への期待

地域活動が活発化するための、地元自治体や地域金融機関への期待については、「補助金・助成金・協賛金等の提供」が28.0%と最も多く、次いで「多彩なアイデア・企画の提供」15.5%、「外部への情報発信の強化」11.6%と続く。これは、全国の傾向とほぼ同じである。



以上

参考文献

- ・ 信金中央金庫 地域・中小企業研究所 「第168回全国中小企業景気動向調査」